



学校教育目標 「気づき、考え、実行する子どもの育成」
「進んで学ぶ」 「自分も友達も大切にする」 「元気いっぱい何事にもチャレンジ」

○ 各学年でありがとうの気持ちを伝えあった：6年生ありがとう集会



3月22日(木)の2・3時間目の時間を使って、「6年生ありがとう集会」を行いました。代表委員会では「6年生が楽しめるありがとう集会にしよう」と話し合いを行い、進行や飾りなどは分担を決めて当日を迎えました。各学級は、出し物を通して気持ちを表現していました。劇や歌、紹介、クイズ、楽器演奏など各学級で工夫された発表でした。どんな内容の出し物だったら6年生が楽しんでくれるだろうか、どう表現したら感謝の気持ちが伝えられるだろうかと考えたのだろうかと感じられる発表ばかりでした。本番は、児童一人一人が、感謝の気持ちを伝えようと精一杯頑張り、気合いが入った発表となりました。観ている側も一緒に笑ったり、考えたり、しみりしたりと、いい時間になりました。6年生もとても喜んでいました。中小のやる気が見えてとても嬉しかったです。そして、温かい気持ちになりました。会場にはたくさんの保護者様の姿があり、児童たちには励みとなりました。保護者の皆さんも会場にいてほっこりされたのではないのでしょうか。ご参観いただき、ありがとうございました。

○ 久しぶりに対面で行った千葉県 JRC との交流会(5年生)・子どもガイド(6年生)

2月16日(金)は、久しぶりに千葉県 JRC との直接交流ができました。中小では、主に5年生と6年生で歓迎しました。千葉県から訪れたのは、県内で JRC 活動に参加している6年生と5年生8人でした。千葉県のことや自分たちが行っている JRC 活動の紹介をしてくれました。心肺蘇生装置(AED)を使いながら実際の使用法を説明してくれた時の動きはとても素晴らしくリーダーとしての姿をしっかりと学ぶことができました。



中小の5年生も負けてはいませんでした。相手の発表に積極的に感想や質問をして交流しました。中小の活動や中川副の説明になると、自分たちで作成したプレゼンテーションを使い、交代しながら次々に発表しました。はっきりとした声で堂々と伝えていました。私も「よし、いいぞ」と心の中でつぶやいてしまいました。



さらに6年生は、佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館でスタンバイしており、館内の展示についてガイドをしました。夏の経験からレベルアップしており、一緒に考えるクイズを入れたり、動きをつけたりと、さらに分かりやすい説明となっていました。諸田館長様からもお褒めの言葉をいただきました。嬉しいことに、昨年度オンラインで交流したお友達も今回のメンバーに居て、1年ぶりに直接会うことができました。



JRC活動を通じた千葉県との交流は、中小にとっても成長につながる体験であり、これからも続けます。遠い千葉県がとても近くに感じられました。機会をいただいたJRC佐賀県支部の皆さんに感謝します。

○ ミシンボランティアお世話になりました (5年生)

5年生は家庭科においてエプロンを作成しておりました。作業の進め方やミシンの使い方では、教師一人では十分対応できないところがあり、ミシンボランティアの方の力を借りての授業となりました。5年生は、困ったときにすぐに対応していただき、安心して作業をすることができていました。全員笑顔で時間内に完成させることができました。出来上がったエプロンを試着して満足げでした。今回お手伝いいただきました、坂田様、中尾様ありがとうございました。忙しい中に時間を作っていただき感謝申し上げます。



今年は、5年生と6年生の2学年でボランティアの皆さまにお世話になりました。地域の皆様、これからもお力をお貸しください。

○ 前中川副公民館長さんの木原様6年生にがんばれコール

2月2日(金)に中川副公民館の館長をされていました木原様が、これまで地域で顔を見ていた中川副小学校の6年生にがんばれのメッセージを贈ってくださいました。



話の1つに、プロ棋士の藤井聡太さんの話がありました。自分が指すまでに、時間をかけて

いく通りもの指す手を考えるそうです。しかし、最終的に指す手は一つだけ。どんなに時間が長くなっても無駄な思考はなく、決定した最後の一手につながると。様々な場面で、回り道をすることがあるが、それも無駄なことではない。無駄だと思えることにこそ意味がある。そんなことを感じてくれたでしょうか。そして、将棋の三つの礼「始まりの礼」「負けの宣言の礼(まいりました)」「終わりの礼(ありがとうございました)」が印象に残りました。特に、負けましたと潔く言える勇気は、大切なのではないのでしょうか。

話の2つ目には、iPS細胞でノーベル医学生理学賞を受賞した山中伸弥さんの話でした。山中さんは、これまで様々なことに挑戦しては失敗を繰り返していたそうです。失敗は、次のステップに進むチャンス。うまくいかなくても嘆くことはない。次の考えが生まれ、ゴールに少しずつ近づいている。何もしないのが一番の失敗であると。私もいつも思っています。何もしなければ失敗はない。しかし、何も生まれないし、何も進まない。失敗があるのががんばっている証拠です。挑戦することを楽しんで欲しいです。

6年生の感想を読むと自分と照らし合わせながら話を聞いていたことがよく分かりました。例えば、失敗や叱られることを恐れて一步を踏み出せずにいる自分がいるということ。この後、さらに様々な事にがんばろうとする6年生の姿が見られました。木原様ありがとうございました。

★ 3月の予定 ~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*

- ・3月4日(月)教育相談週間(~8日)
- ・3月14日(木)6年生修了式・3月15日(金)卒業証書授与式
- ・3月21日(木)給食終了 ・3月22日(金)修了式・辞任式

ホームページは
こちらから

